

身障者用トイレが使いやすくなる だけでも外出しやすくなります！

車椅子児を連れての外出には多くの苦労があるため、ついつい出かけるのが面倒になってしまいます…。

家族で出かけて、兄弟姉妹と一緒に同じように楽しんで欲しい。オムツ替えの心配がなくなればもっと出かけられるのに…。



ベビーベッドではオムツ替えができません！

ベビーベッドの使用は2歳半まで。
耐荷重は12kgまで。



娘が115cm・17kgの頃までは、もしも破損、落下したら・・・と怖い思いをしながら使用していましたが、成長に伴い乗せることも不可能になりました。



☆障がい児とベビーを連れている親御さんもいますので、不要なわけではありません。

介助ベッドのないトイレでオムツ替え をするところを想像してみてください

リクライニングできる車椅子で
交換すると？

- ズレ防止の股ストッパーが
邪魔で替えにくく、コルセット
などの装着もズレてしま
います。

股ストッパー



リクライニングできない車椅子
の場合は？

- トイレの床に新聞紙を敷い
て、マットを敷いて替えます。
敷いたものを持ち帰らなけ
ればなりません。
- トイレの床に寝かされる気
分はいかがでしょう？



介助ベッドが必要なのは障がい児・者
だけではありません。
高齢者にもご利用いただけます。



車椅子を使用していても 一時的に立てる子もいます。



靴下のまま汚いトイレの床に
立たせなくてはならない場合
靴下を替え、汚れた靴下を
持ち歩かなければなりません。
着替え台もあれば、さらに
助かります！



これらがガイドブックを作ろうと思った きっかけでした。

当事者でないと気付かない不便さが意外とあります。

オムツ替えの問題、駐車場の問題、食事の問題・・・。
車椅子でお店に入れるのか、お店の方は障がい者に理解があるのか・・・。

ガイドブックを作るなら自分たちが便利な物にするだけではなく、
不便さを知ってもらえる内容にしようと思いました。

このガイドブックをきっかけに利用しやすい施設が増えてくれることを
切に願っています！

ご清聴ありがとうございました。

えんがわ